

**答** この地区の排水路については農業用排水の機能に加え、生活排水の機能も増えていると認識しているが、浚渫については他の地区でも地元土地改良工区等に管理をお願いしているので、引き続きご協力をお願いしたい。柵渠設置については土地改良施設維持管理適正化事業等、国・県の補助事業があるので、今後、整備手法について地元と協議を行っていきたい。

生活排水の機能を併せ持つ農業用排水路は農家の方々に草刈り作業をご協力頂いているのが現状である。今後、地域ぐるみで協力が得られるよう回覧板や各種通知等で呼びかけを行い、地域住民に働きかけていきたいと考えている。

いる。子育て支援の観点からも私立保育園と同じ時間に改善すべきと思うが、見解を伺う。

**答** 核家族化や共働き世帯の増加、就労形態の変化等に伴い、早朝における保育ニーズについても増加していると推察しているが、12月中旬から実施予定の子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査においても保育時間についての項目を盛り込んでおり、利用希望を調査していきたいと考えている。また、他市の状況等を調査研究し、保育所を利用する保護者の方々が不便を感じることはないよう対応していきたい。

**その他の質問事項**

・内谷川派線の河川管理について  
・道路橋梁の管理について



**幼児保育の預かり時間の改善策について**

**問** 公立保育所の預かり時間は7時30分から19時、私立保育園は7時からとなっている。共働き家庭が多い中、母親から職場の出勤時間に間に合わない苦情が寄せられて

**竹本 正明 議員**

(絆(きずな))

**台風26号水害について**

**問** 台風26号の水害は三度目は起こらない対策を講じてきたのに市民に多大な被害を与えた。今回の原因は何か。被害状況は。避難警報は適切であったか。水防対策として水門の開閉及び冠水想定地域の排水ポンプの手配は適切に行われたか。

**答** 被害状況については、住家被害は12月3日現在で半壊6棟、一部損壊32棟、床上浸水559棟、床下浸水635棟、道路は冠水47カ所、一部損壊13カ所、崖崩れ10カ所、倒木37カ所である。農林業では農産物、農業施設、林道、ため池等が被害を受け、商業では店舗や事務所等浸水被害が204棟、公共施設では市営八丁寺住宅が床上浸水47棟、図書館、市民会館、中央公民館の浸水被害等、多くの被害を受けた。被害額は土木関係で約2億3400万円、農林関係で約3900万円、商工関係で約6億9500万円、公共施設関係で約6800万円、総額約10億3600万円もの被害となった。

水害被害の原因については長生土木事務所で浸水の実際、雨の降り方、流域内の開発状況、地盤沈下の状況、洪水流量の分析等浸水発生要因の分析を行っており、11月26日に「一宮川浸水対策の検討」が行われたところである。その中で一宮川の上流域である長柄町の水上と長生土木事務所の雨量や一宮川と調節池の観測水位、一宮川流域での地盤沈下の状況等の中間報告がされたところであり、今年度末を目標に対策案を取りまとめる予定となっている。

中であったため防災行政無線がよく聞こえなかった等の意見があったので、早めの避難準備情報の発令も含めて改善していきたいと考えている。

水門については行政が管理しているものと地元で管理しているものに大別され、市管理が17カ所、県管理が11カ所ある。そのうち内水対策として水門13カ所、排水機場4カ所の操作を行い、逆流の被害を未然に防ぐよう対応した。

排水ポンプについては建設業組合と災害応急対策に関する業務基本協定を締結しており、この協定に基づき12カ所に設置し対応したところであり、全体的には有効な活用が図れたと考えている。

**電子図書導入及び学校図書室の充実について**

**問** 三度も水害を受けた図書館の移転及び民間委託には賛成。これを機に図書館の近代化として電子図書の導入を図るべきと思うが。図書館司書資格職員を学校図書室の運営と読書教育の一端を担って子供の読解力の向上を図っては